



一 般 質 問 通 告 書

☐一括方式☒一問一答方式

質問

順番

5

東海村議会議長 吉田 充宏 様

議席番号 1 番 議員氏名 村上 志保

質問事項 (件名)	地域ワークショップの目的と位置づけは	答弁者
要旨（具体的に） 村では平成 15 年に村政懇談会開催要綱を制定し村政懇談会を実施してきたが、令和 3 年度からは、地区自治会ごとの少人数規模で設定されたテーマについて話し合うワークショップ形式へと形態が変更され、「村政懇談会」として令和 7 年度まで継続してきた。さらに令和 8 年度からは令和 3 年度以降の「村政懇談会」の形態にさらに変更を加えた「地域ワークショップ」が新たに開始されるとのことである。この変更に関し、以下伺う。 1. 地域ワークショップの目的と機能、形態、参加者数及び構成は。 2. 今年度の地域ワークショップのテーマは。 3. 地域ワークショップは、村政懇談会の目的及び機能を継承するものなのか。あるいは異なる目的及び機能を持つものとして位置づけられているのか。 4. 地域ワークショップの創設は村政懇談会の廃止を意味するのか。村政懇談会開催要綱は廃止されたのか。また、廃止したのであれば、その決定時期及び判断の経緯は。		

質問事項 (件名)	東海村におけるふるさと納税の今後の取組は	答弁者
要旨（具体的に） 東海村のふるさと納税は、寄附額が令和 4 年度の 1 億円超をピークに大きく減少傾向が続くとともにマイナス収支の状態にあり、返礼品や推進体制などにおいてさらなる改善が求められている。本村におけるふるさと納税の現状及び今後の取組について以下伺う。 1. 令和 7 年度のふるさと納税の寄附件数、寄附金額、経費、住民が他自治体に寄附したことによる住民税の控除額は。 2. 東海村ふるさと応援納税電子クーポンの実績は。 3. 寄附金額増大のための今後の取組は。		

乙 表

氏 名	村上 志保	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	難病患者への経済的支援のさらなる充実の可能性は	答弁者
要旨（具体的に） 東海村では指定難病患者及び関節リウマチ患者に年1万5千円の見舞金を支給している。この額は県内の他市町村と比較すると必ずしも高いとは言えず、茨城県が公表している令和7年度の難病患者福祉手当一覧を見ると、県内各自治体の支給額の中央値である2万円を下回っている。難病患者への経済的支援をさらに充実させる可能性について、以下伺う。 1. この見舞金制度の目的及び申請方法は。 2. 年1万5千円という額の根拠は。 3. 支給額の充実と対象者の拡大について、村は今後いかなる方向性を考えているのか。 【資料請求】令和3年度から令和7年度までの年度ごとの指定難病患者、関節リウマチ患者それぞれの支給者数及び支給総額		

質問事項 (件名)		答弁者
要旨（具体的に）		